



食農教育活動

女性部では、7月18日に湊城西小学校5年生75人を対象に、4月に定植したじゃがいもの収穫体験を行いました。この活動は、作物の成長過程を学ぶと共に、実際に食べてみて『食と農』の大切さを実感してもらうことを目的としています。

当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、児童らは一生懸命収穫作業に励み、大きく実ったじゃがいもを手にとった児童は「こんなに大きいのが取れた!」と満面の笑みを浮かべていました。

作業後には、とれたてのじゃがいもを塩バター味とみたらし味にして食べ、児童からは「みたらし味を初めて食べたけどおいしかった。もらったじゃがいもでも作ってみたい」といった感想が聞かれました。

今回収穫したジャガイモは、能代市産業フェアや種苗交換会に出品する予定となっています。

また、10月中旬に予定されている、最後の農作業体験では、サツマイモとねぎの収穫作業を行います。



→ 雨の中、収穫作業を頑張りました



→ 一生懸命収穫したジャガイモを運びました



助け合い組織合同研修会

能代地区の「いきいき会」、ニツ井地区の「たんぼぼ会」の合同研修会が7月12日に砂丘温泉ゆめろんで開かれ、会員10人の参加のもと、平成29年度事業報告や平成30年度事業計画などが協議されました。今年度計画では「地域住民を喜ばせる活動をしていきたい」という意見が出され、いなほの里でのボランティア活動をはじめ、タオルの寄贈、ミニデイサービスの開催などを行うこととなりました。



← たくさん笑った講習会になりました



← 簡単そうに見えて意外ときつい体幹トレーニング

その後、福祉介護課職員が講師となり「介護予防体操」の講習会が開かれました。講習会では、体幹を鍛えるトレーニングや納豆体操、歌を歌うなどして会員らは楽しみながら汗をかきました。担当した介護課職員は「健康のために食べる、寝る、体を動かす、そして笑うことがとても重要。いっぱい笑って元気に過ごしてください」と話してくれました。